



校長室通信

小国町立小国中学校

令和 3. 5. 14 (金) No4

文責 狭間卓史



「安心できる学校であるために」

現在、本県はもとより、阿蘇郡内でも新型コロナウイルスへの感染が急速に拡大しつつあります。高齢者の方々へのワクチン接種も始まりつつありますが、予断を許さない状況が続いています。各ご家庭におかれましても、ご家族はもちろんのこと、ご親戚や同じ職場の方々のごことも含めれば、気がかりな状況になっていらっしゃる方も増えつつあるのではないかと考えています。

本校でも小国郷や近隣市町村の感染状況をふまえて、校内での感染対策のレベルを引き上げると共に、部活動についても7日～14日まで活動停止にさせていただきました。急なお願いにもかかわらずご協力いただきましたことにはあらためて感謝申し上げます。

現在、国内外では新型コロナウイルス感染者に対する誹謗中傷や偏見・差別が横行している状況にあります。このようなことは当然のことながら許されないことであり、誰もが、いつでも、感染し得ることだからこそ、感染者の立場で考え、その心情等に寄り添いながら、互いに感染拡大防止に努めていく必要があります。

私ども学校職員としては、生徒とご家族の皆様方にとって、安心して通うことができる居場所としての学校を提供できるように努めていく所存です。今後ともご不安なこと等ございましたらいつでもご連絡ください。

「備える」



今週は、新型コロナウイルス等による万が一の休校や学年・学級閉鎖に備えた「学びの環境作り」を急速に進めました。小国町には、本年度、全児童生徒用にタブレットを一台ずつ配備いただきましたが、中学校ではそのタブレットを活用したリモート学習の準備に取り組んでいます。

今週火曜日には本校職員で組織する「研究部環境部会」がリモート学習導入のための計画を提案してくれました。その翌日には、全学級で特設の学習会を行いましたし、その日の放課後には、後藤葵教諭や内村教諭が講師役を務めた職員研修会にも取り組みました。そして木曜日、金曜日と実際の授業で活用しながら、リモート学習をいつでも実施出来るように備えているところです。

なお、この取り組みに必要なこととして、本日、タブレットを各家庭に持ち帰るにあたっての「同意書」をお配りしています。提出期日に余裕がなく申し訳ありませんが、ご確認のうえ、ご提出にご協力をお願い致します。

【生徒の学びの吸収は本当に早い！】→



【後藤秀司教諭も加わっての研修準備】



【職員研修会の様子】

